



葛の三つ葉



千葉市立葛城中学校
学校だより 05-14号
令和6年1月24日(水)

3月8日に行われる卒業式・旅立つ時の準備が始まりました。三年間の集大成となる大切な行事です。
生徒、職員が一丸となって素晴らしい卒業式となるよう頑張っていきます。

令和5年度旅立つ時 テーマは「結（むすび）」

葛城中学校では、「表現力の育成」「キャリア教育の充実」を特色ある教育活動として掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。その集大成として、卒業式の第2部「旅立つ時」という卒業生と在校生が語りと歌で互いの思いを伝え合う活動を行います。旅立つ時は今回で24回目を迎えます。自分達の“生き方”を振り返り、思いを“表現する”旅立つ時は、葛城中が誇る伝統的行事でもあります。しかし、この数年間はコロナ禍のため、卒業式・旅立つ時について在校生は一部生徒のみの参加とし、全学年揃っての旅立つ時は実施できませんでした。今年度も感染症の流行が収まらないことや体育館の収容人数の関係から、卒業式・旅立つ時の参加は昨年度と同様、卒業生、保護者、職員、在校生の代表生徒のみとなります。

そのため、今年度の旅立つ時は、3年生が三年間ともに過ごした仲間に向けて、卒業への思いを歌と語りで伝え合うという活動になります。また1、2年生は卒業式当日には参加できないものの、卒業式の予行練習に参加し、そこで「送別の時」として3年生への感謝の気持ちを歌と語りで伝える活動を行います。

1月23日(火)5・6校時にTV放送にて第1回旅立つ時が行われ、生徒会長のWさんと前生徒会長のHさんが、旅立つ時への思いを全校生徒に向けて伝えました。今年度のテーマは「結（むすび）」。3年生が学年でのアンケートをもとに決めたものです。ぜひ卒業生、在校生それぞれの立場から、このテーマの意味について考えてほしいと思います。そして素晴らしい卒業式・旅立つ時を作りあげましょう。

【在校生代表 生徒会長 2B Wさん】

こんにちは、送別の時実行委員リーダーのWです。

早速ですが、旅立つ時についてイメージをもつことはできましたか？

今年は昨年度に比べ、感染症対策が緩和され、1、2年生が合同で送別の時を行えることになりました。送別の時とは、今まで部活動や委員会活動等で私たちを支えてくださりお世話になった先輩方に、感謝の気持ちを伝えるための、とても大切な場です。

皆さんにご覧いただいたビデオにもある通り、送別の時はその年度ごとにテーマを設け、そのテーマに沿って活動が行われます。今年のテーマは「結」

です。私が最初にこのテーマを聞いたとき、野田洋次郎さんというアーティストの「蝶々結び」という曲を思い出しました。この曲は皆さんも知っているヒモの結び方である蝶々結びをテーマとして人と人とのつながりについて描いた曲です。この曲の後半部分には「別々に二人選んだ糸を お互いたぐり寄せ合ったんだ 結ばれたんじゃなく 結んだんだ」という歌詞があります。この歌詞には、今近くにいる人とは偶然に出会ったのではなく、お互いがお互いの見えない糸を選び、引き寄せ合い、必然で出会ったのだという意味が込められていると私は思います。

今あなたの隣にいる人、部活動や委員会活動等でお世話になった先輩方、たくさんのことを学ばせてくれた後輩、その人たちとは必然か運命かの出会いで仲間になった人たちだと思います。送別の時はそんな大切な仲間たちに感謝を伝える大切で、本当に素敵な場です。仲間たちとの最後の思い出をより色濃く良いものにするために、一人一人それぞれの思いを込め、送別の時に臨んでほしいと思います。

3年生の皆さん、残り卒業まで、2 か月を切りましたね。私たち1、2年生はこの送別の時を通して、「葛城中をまかせて大丈夫」と思ってもらえるよう努めていきます。まだお世話になることも多いですが、よろしくお祈りいたします。みんなの力で送別の時を最高のものに作り上げましょう。



【卒業生代表 前生徒会長 3D Hさん】

皆さんこんにちは。卒業生代表のHです。いよいよ今年も、旅立つ時の準備が始まります。先ほどのビデオでもありましたが、コロナ前であれば、旅立つ時は全校生徒が集まって歌や語りを送りあっていたのですが、やはり今年度も残念ながらそれは叶いません。だからこそ、どの学年も自分自身でできることをよく考えて臨むようにしましょう。2、3年生はもうわかっていると思いますが、旅立つ時は当日だけでなく、準備の段階から、つまりもうすでに始まっています。今から気を抜かず、お互いの思いが届くよう、みんなで頑張りましょう。



さて、今年度の旅立つ時のテーマが決定しました。今年度のテーマは「結(むすび)」です。この「結」という漢字には、「人と人とを関係づける」や「物事の終わり、結末」といった意味もあります。この旅立つ時は私たち3年生にとって、3年間の中学校生活の「終わり」、そして4月から新しい友達と関係を「結ぶ」ための一歩です。3年間苦楽を共にしてきた仲間たちと、最後をきれいに結びたい。そんな思いを込めて、このテーマを設定しました。私たち3年生はお互い助け合いができて、団結力ががあります。どんなことにも全力で取り組み、誰かが困っているときは声を掛け合う。そんな、当たり前でできなくてできないことを、当たり前でできるところが、3年生の良いところだと思います。そんな私たちなら、中学校生活の集大成、旅立つ時をきれいに結べるのではないのでしょうか。どうか最後まで、ご協力よろしくお願ひします。

私は今まで2回、旅立つ時の当日に参加することができました。まず、1年生の頃、初めて見た旅立つ時で、先輩方一人一人の態度や思いの深さに圧倒されました。真剣なまなざしが本当にかっこよかったのを覚えています。「これが葛城中の伝統だ」とその時の先輩方が教えてくれたような気がします。私もこんな先輩方のようになりたいと強く感じました。

そして、2年生の頃、私は在校生代表として送別の時で語りを先輩方に送ったり、卒業式当日の校旗入場を務めたりしました。来年は自分たちの番だ。そう思うとより一層気持ちを入れて取り組むことができました。旅立つ時当日、やっぱり先輩方はかっこよくて、輝いていて、今でも思い出すと涙があふれるくらい、その態度は立派でとても素晴らしい式でした。

さあ、今度は自分たちの番です。私は先輩方のような旅立つ時をつくりあげたいです。今までの旅立つ時を見たことがあるのは限られた人だけですが、その人たちは、ぜひ旅立つ時、そして葛城中の伝統のすばらしさを学年に伝えていってください。

1、2年生の皆さん。残念ですが、ほとんどの人は旅立つ時当日に参加していただくことはできません。ですが、どうか最後まで私たちのことを支えてくださると嬉しいです。よろしくお願ひします。

そして、3年生の皆さん。いよいよ卒業まであと少しです。進路がもう決まった人もいれば、まだ頑張っている人もいて、進む道はみんなばらばらですが、この葛城中で行う最後の行事を私は絶対に成功させたいです。どうか、一人一人が真剣に臨んで、最後をきれいに結びましょう。また、私たちがここまで頑張ってきたのは、支えてくださった1、2年生の皆さん、先生方、そして私たちの家族のおかげです。今までお世話になった人々への感謝の気持ちを忘れずに、残りの30日間、後悔のないように過ごしましょう。

最後に、全員が思い出に残る旅立つ時にするために全力を尽くしますので、皆さんのご協力、よろしくお願ひします。みんなで最高の旅立つ時をつくりあげましょう。